

名古屋市営住宅を活用した コミュニティ形成モデル事業に関する確認書 名古屋市と締結

学校法人名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、学長：赤楚治之)は、市営住宅空き住戸の有効活用を図り、団地コミュニティの活性化を図るために、3月30日(水)14時30分より名古屋市役所西庁舎で名古屋市と「市営神戸荘の空き家を活用したコミュニティ形成モデル事業に関する確認書」を締結し、学生の取組による団地コミュニティの活性化を図ります。

◇事業の目的

近年、名古屋市営住宅の入居者の高齢化が進み、自治会活動等の担い手が不足するなどの課題が生じており、その課題解決に向けて、当該団地(市営神戸荘)の空き住戸を名古屋学院大学が借り受け、学生がそこを活動拠点として団地コミュニティ活性化に資する取組を行います。

学生は、その時々の方地のニーズにあった活動を企画・実施し、神戸荘自治会の再興を支援していきます。

◇実施場所(別紙「神戸荘案内図」のとおり)

名古屋市営住宅神戸荘1棟110号(名古屋市熱田区神戸町801番地)

◇主な内容

- ・市は空き住戸を大学へ貸付
- ・学生ボランティアサークル等が団地コミュニティの活性化に資する取組を実施
- ・大学は部屋を管理し水道光熱費などの維持費を負担
- ・間取り：2K+店舗(約50㎡)
- ・家賃：無償

◇期待される効果

- ・団地コミュニティの活性化
- ・自治会活動等への参加者の増加

◇今後のスケジュール

- ・2022年4月～空き住戸の改修
- ・2022年7月～借り受け開始、学生等による取組の実施

【確認書の締結】

- 日時：2022年3月30日(水)14時30分
 ○場所：名古屋市役所西庁舎4階住宅都市局長室(名古屋市中区三の丸2丁目3-1)
 ○締結者：名古屋市／名古屋学院大学

【名古屋学院大学について】

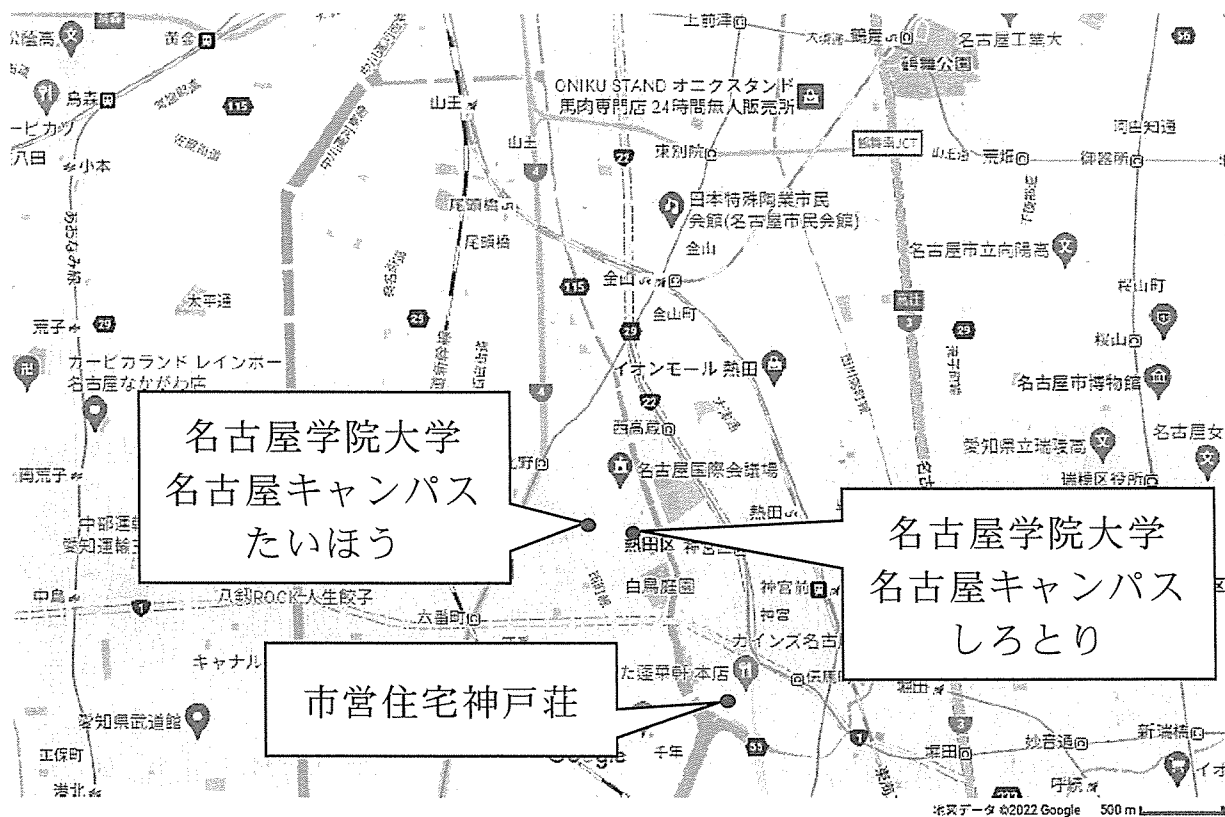
「敬神愛人」を建学の精神とする名古屋学院大学は1964年に開学。8学部、大学院2研究科を擁するキリスト教主義の総合大学です。名古屋キャンパスを開設した2007年に名古屋市と連携協力に関する協定を締結し、さまざまな地域連携活動を推進してきました。2018年度には名古屋市熱田区を地域モデルにした研究が文部科学省・私立大学研究ブランディング事業に選定されています。

【内容詳細に関するお問い合わせ】 名古屋学院大学 社会連携センター TEL：052-678-4085

(別紙)

神戸荘案内図

(1) 位置図



(2) 貸付を行う店舗付き住宅

